

## 2025年度 和歌山大学教育学部 共同研究事業成果報告会 実施要項

和歌山大学教育学部は、和歌山県教育委員会との連携協議会、和歌山市教育委員会との包括的な連携協定、和歌山県市町村教育委員会との連携、大阪府泉南地区5市3町教育委員会、泉大津市教育委員会、忠岡町教育委員会、和泉市教育委員会、高石市教育委員会との包括連携協定を充実させ、共同研究や教育実習・ボランティア派遣・現職研修などで、幅広く連携協力を行っています。この度、下記の通り、大学教員と附属学校教員・公立学校教員との共同研究事業に係る成果報告会を開催します。多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

1 日 時 2026年2月7日(土) 13時20分～17時00分

2 会 場 [第一部] 和歌山大学 東2号館 [第二部] 和歌山大学 東2号館・東3号館  
〒640-8510 和歌山市栄谷930  
TEL 073-457-7303 FAX 073-457-7452

3 受入人数 約200名

4 参加対象 和歌山大学教育学部教員、附属学校教員、連携公立学校教員、和歌山県教育委員会、和歌山県内市町村教育委員会、和歌山市教育委員会、大阪府泉南地区5市3町教育委員会、泉大津市教育委員会、忠岡町教育委員会、和泉市教育委員会、高石市教育委員会、和歌山大学教育学部学生、教育学研究科大学院生、その他教育関係者

### 5 プログラム

13:00 受付(東2号館 L-101教室前)

[第一部] (東2号館 L-101教室) (司会:和歌山大学教育学部副学部長 井嶋博)

13:20 開会挨拶 和歌山大学教育学部長 山崎由可里

13:25 挨拶 和歌山県教育長 今西宏行

和歌山市教育長 阿形博司

和歌山大学理事 添田久美子

13:35 全体会口頭発表

#### (1) 郷土の先人の生き方を知り、後世に語り継ぐ活動を想定した学習単元の開発

～オーストラリア・木曜島へ渡った串本町最後のダイバーの生き方にせまる～

研究代表者: 須佐 宏

連携学校: 串本町立潮岬小学校, 串本町立潮岬中学校, 和歌山大学教育学部附属小学校  
串本町教育委員会, 北海道大学, 岡山大学, 大阪公立大学

#### (2) 特別支援学校小学部における音楽科の授業づくりと、音楽の機能を活用した「自立活動」の実施と検討

研究代表者: 菅 道子

連携学校: 和歌山大学教育学部附属特別支援学校

#### (3) 学力層に着目した教育データ利活用モデルの構築

研究代表者: 福永 徹

連携学校: 和歌山市立松江小学校, 和歌山市教育委員会

#### (4) 子どもの主体性を尊重する初任・若手教員の学級づくり・学級経営の実践と教師としての成長

研究代表者: 船越 勝

連携学校: 和歌山市立楠見小学校, 和歌山市立鳴滝小学校, 和歌山市立藤戸台小学校, 和歌山市立四箇郷小学校, 紀の川市立東貴志小学校, かつらぎ町立大谷小学校, 貝塚市立中央小学校, 紀美野町立紀美野中学校, 和歌山市立西和佐小学校, 御坊市立湯川小学校, 堺市立宮園小学校, 和歌山大学教育学部附属小学校, 泉佐野市立日新小学校

14:35～14:45 休憩

[第二部] (東2号館 L-101～L202教室)

14:45 研究テーマ別6分科会 (30テーマ)

1	幼児教育・初等教育・探求学習	4	国語科教育・英語科教育
2	特別支援教育	5	社会科教育
3	数学科教育・理科教育	6	体育科教育・授業づくり

17:00 終了

## 6 参加申込み方法等

研究代表者は参加が前提となっていますので、参加申込みは不要です（事情により参加できない場合は、その旨を教職実践支援ユニットに連絡のうえ、ご自身の責任で共同研究者に口頭発表を依頼してください）。共同研究者や一般参加の方は、参加者名簿の準備や資料準備の都合上、できる限り事前に参加申込みをお願いします。とくに、学外の方で口頭発表予定の方は、旅行依頼手続きの関係上、必ず参加申込みをお願いします。参加のみの方は学内・学外を問わず当日参加も可能ですが、事前準備に係る上記の事情をご理解いただければ幸いです。なお、参加申込みは以下の①か②のいずれかの方法で受け付けます。

① スマートフォンに右隣のQRコードを読み込ませてMicrosoft Formsの参加発表申込みページにアクセスし、申込者氏名・所属・連絡先・参加者氏名(複数入力可)・参加者所属・参加予定分科会番号・口頭発表者住所・研究課題番号(または研究代表者名)を入力して送信ください。

② 別紙の参加申込書に上記の必要事項を記入し、電子メールの添付ファイルかFAXにて、和歌山大学教育学部教職実践支援ユニットまでお送りください。

- ・ 申込期限 口頭発表予定の方：2026年1月23日（金）  
上記以外の方：2026年2月3日（火）

- ・ 参加費 無料
- ・ 参加申込み先

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学教育学部教職実践支援ユニット（担当：山口）

Tel 073-457-7303 Fax 073-457-7452

E-mail : [csc-jimu@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:csc-jimu@ml.wakayama-u.ac.jp)



## 7 主催・共催・後援（調整中）

主催：和歌山大学教育学部

共催：和歌山県教育委員会，和歌山市教育委員会

後援：岸和田市教育委員会，貝塚市教育委員会，泉佐野市教育委員会，泉南市教育委員会

阪南市教育委員会，泉南郡熊取町教育委員会，泉南郡田尻町教育委員会，泉南郡岬町教育委員会

泉大津市教育委員会，泉北郡忠岡町教育委員会，和泉市教育委員会，高石市教育委員会

## 8 その他

各研究代表者からは事前に研究報告の原稿が提出され、それらを『2025年度和歌山大学教育学部共同研究事業成果報告書』として取りまとめ、成果報告会当日に配付する予定です。なお、成果報告会に参加予定の本学教職員の方は、休日振替（翌週の月～金のいずれか）の手続きをよろしく願いいたします。

2025年度共同研究事業成果報告会 分科会一覧表

分科会名	研究課題番号	研究代表者	研究課題	分科会部屋番号
①第1分科会 幼児教育 初等教育 探求学習	1	伊澤真佐子	算数科における操作活動を大切に「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	L-202
	2	伊澤真佐子	道徳科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現に向けた取組	
	6	尾上利美	小学校英語教育の充実	
	13	須佐 宏	国語科の研究指定校間連携による教員の学び合い ～学校間相互参観の促進と合同教材研究による研究協力体制の構築によって～	
	14	須佐 宏	郷土の先人の生き方を知り、後世に語り継ぐ活動を想定した学習単元の開発 ～オーストラリア・木曜島へ渡った串本町最後のダイバーの生き方に学ぶ～	
	16	丁子かおる	図工科における楽しく豊かな表現活動を目指して —「自分の思い」を持って、主体的に表現活動を楽しむ子どもの育成—	
	17	丁子かおる	異年齢の遊びの中で、主体的に遊びを進めているための環境構成や援助について	
	27	本村めぐみ	生涯にわたる「性の多様性・ジェンダー平等」の学びを創る～＜絵本＞を介した対話的手法の模索～	
②第2分科会 特別支援教育	3	上野智子	小学校特別支援学級の「自立活動」における音楽療法的活動の考案と実践	L-102
	4	上野智子	特別支援学校小学部の「自立活動」における音楽療法的活動の考案と実践	
	5	上野智子	特別支援学校高等部における音楽療法的活動の考案と実践	
	7	菅 道子	中等音楽科の授業づくり	
	8	菅 道子	特別支援学校小学部における音楽科の授業づくりと、音楽の機能を活用した「自立活動」の実施と検討	
	9	北岡大輔	病弱特別支援学校に在籍する心理的な課題を抱える子どもの「自分らしく豊かに生きる力」を育む実践的研究—「子どもと教師のための作戦会議」の効果的な運営—	
	10	北岡大輔	知的障害や発達障害の生徒の社会参加を目指した自立活動の指導についての研究 —集団の相互作用を生み出す学習活動—	
	15	竹澤大史	特別な教育的ニーズのある児童生徒への指導・支援とコンサルテーションに関する研究	
	18	寺川剛央	特別支援学校美術科における題材研究 ～土素材と紙素材の可能性について～	
	30	山崎由可里	小学校特別支援学級（情緒障害）における、自己効力感を高める「自立活動」の検討	
③第3分科会 理科教育・数学科教育	11	古賀庸憲	理科第2分野の野外観察実習2025 （加太における磯観察）	L-104
	19	西山尚志	中学校数学授業研究	
④第4分科会 国語科教育・英語科教育	22	松山哲也	中高英語の語彙・文法・音声指導の研究・英語学の知見を活かして	L-105
	23	丸山範高	文学を通して捉え直される自己・他者の多様性から見る高校生の読みの変容のあり方	
⑤第5分科会 社会科教育	12	島津俊之	専門知と実践知の交流による小学校社会科授業の試み	L-103
	24	三品英憲	中大連携による社会科公民的分野の授業に関する研究	
	28	山神達也	地理的分野を中心とする中大連携による社会科授業の研究	
	29	山神達也	地域教材の開発と活用「2025年度歴史・地理探訪フィールドワーク」	
⑥第6分科 体育科教育・授業づくり	25	村瀬浩二	共生体育を目指したアダプテーション・ゲームの実践	L-203
	26	村瀬浩二	自己表現とその受容を目指した「プレイケン」の実践	
	20	福永 徹	学力層に着目した教育データ活用モデルの構築	
	21	船越 勝	子どもの主体性を尊重する初任・若手教員の学級づくり・学級経営の実践と教師としての成長	